

☆☆御祝儀、お見舞いは三千円を限度にお返し物はしないようお互い気を配りましょう。御祝儀、お見舞いは三千円を限度にご返し物はしないよう気を配りましょう☆☆

健康とふれあいの輪

大代地区民大運動会
恒例の大代地区民大運動会が十月十一日晴渡った秋空の下に展開されました。

来賓、参加者、各役員の出足もよく、演技種目に出場した人、応援席で声援を送った人、その顔、顔は秋晴に似て爽やかな顔に満ちた一日を満喫して盛会のうちに多賀城音頭とハイライトの地区対抗リレーで締め括り無事終了いたしました。

恒例とはいえ事前の準備から当日の運営にあたられた実行委員、出場人員の掌握にあたった地区世話係、会場接待に協力された婦人会のみなさんなど、大代地区が一丸となった成果に感謝し、関係者各位にたいへんご苦勞様でした、とお礼申し上げます。なお、採点種目競技は各チーム大熱戦の結果、優勝 大代中区Aチーム 準優勝 大代北区チームです

大代四区連合会 会長 長渡辺 権四郎
大代地区民運動会実行委員長三浦 正義

☆☆親と子の☆☆

ふれあいを求めて

或る雑誌に親として・・・こうあるべきだ。という素晴らしいことが掲載されていたのを読んだ私は成るほど同感したので、

その一部分を紹介いたします。

親子のふれあいの中で家庭生活がいとままれる限り、そこに非行の子供は生まれないうことと、又、学校は学習の場であり、しつけ(躾)の場ではないと思う、ともいっています。毎日生活を共にしている親が一番知っており知っている必要があるのではないか、そのためには小学生のうちから、「学校と家庭」「先生と親と子」の連携は欠かせないものと思う。常に明るい家庭であるためには、家族一人ひとりの人格を尊重しながら、何でも話しあえる親子関係を保ち、そして、子供にだけ厳しさを要求することなく「親が手本を示す」それが努力という、親自身への厳しさも必要である。と、
私、自身この本の短い文章の中から沢山の反省させられることばかりで、ひたすら努力しなければと常に心掛けておりますが皆さんはどうお考えになりますか。

大代東区 橋本 浩



随想 「豊やかな心で」

門間 喜多子

私達が子供のころ、人びとの暮らしは今のよう物質的には豊かではありませんでしたが、人々は誰しもが豊かな心を持って暮らしていたような気がいたします。その人達が作る和やかな社会で、子供達はそのびやかにすくすくと育てられてきたと思っております。

私も「裏千家」の、お茶を学ぶ者が、研究会などの集まりの始めに朗読することば・・・がございしますが、その中に「豊かな心で人々に交わり世の中が明るく暮らせるように」との一節がございしますが、お茶の道だけでなく、日常の暮らしの中でいつも心掛けていたものと思っております。

・ドーン・朝の秋空に響き花火の合図は十月二十五日柏木神社の秋祭をつげたまつり姿のハッピー勇ましい児童達は神輿の出発が待ち遠しくハシヤイていた。

やがて午後一時祭事をおえて太鼓と鐘の音に乗った行列は、本郷宮司を先頭に、大代の平和と家内安全と健康を祈願し、三時間の神輿行列は無事おえることができた。関係者のみなさんご苦勞さんでした。・・・まつりのすきな・・・氏子・・・

一口二豆知識

社会教育振興員・・・とは

多賀城市の地域社会教育の振興を図る目的をもって、市内全区の行政区毎に「社会教育振興員」が設置されております。(昭和五八年三月三十一日設置要綱制定)

選任の方法は行政区長の推薦によるもので、市教育委員会が委嘱いたします。具体的な活動は、地区内の自治組織内に所属し、社会教育的学級の開設、地区公民館事業への協力や、市社会教育担当職員との連携等によって、うるおいのある地域づくりに協力願っている方がたです。

大代地区の社会教育振興員は次のとおりですから宜しく願いしてご紹介いたします。

- 大代東区 跡辺 文江
- 大代中区 東海林 聡悟
- 大代西区 佐藤 甚六
- 大代北区 加藤 渉

かいらん

☆☆あいつは心のふれあい、あいつは心のふれあい、あいつは心のふれあい、あいつは心のふれあい☆☆